

# 令和7年度受講生の感想（金沢市開催）

## 「滞納整理・基礎コース」に参加して

新卒で納税課に配属され、右も左もわからない状態の中、セミナーに参加する機会をいただきました。本研修は、納税課において滞納整理を行う上で必要となる徴収業務の基礎知識から実務的な対応方法に至るまで幅広く学べる内容で構成されており、非常に有意義だと感じました。講義はスクール形式で行われ、徴収業務の概要や法的根拠について時折図示を交えながら非常にわかりやすく説明していただきました。

講義中の質疑応答も深く印象に残っています。先生が一人ひとりの疑問に真摯に耳を傾け、納得できるまで丁寧に回答されていたからです。他の受講者が質問したことも全体に共有してくださることで、自分も理解が足りていなかったと気付ける大変有益な時間でした。本研修は、知識の習得にとどまらず、業務に向き合う姿勢を見直すきっかけともなる学びの多い時間でした。

## 「滞納整理・事例検討コース」に参加して

私は納税課に配属されて二年目となり、徴税吏員として滞納者とうまく向き合うべきか模索の毎日です。一筋縄ではいかない案件に行き当たることが増え、他の自治体ではどのように対応しているのか、解決の糸口や法的根拠はどこにあるのかと悩むことが多くありました。

参加した本研修では、2日間で計4件の検討テーマを取り上げ、グループ毎に事例検討を行った後、講師の斎藤博史先生による解説が行われました。グループ内での意見交換時間は、結論が同じでもそれに至る根拠や重視している点が異なることもあり、各自治体の特色が分かるとても興味深い経験となりました。今回のグループワークを通して自身の考えを客観的に捉えることができ、今後の分納対応への自信に繋がりました。

本研修では、斎藤先生や他自治体の徴税吏員から様々な角度からのご質問やご意見をいただくことにより、法的根拠を再確認し、より深く理解することができ、業務に活かせる知識やスキルを習得できたと感じています。

## 「固定資産税課税コース」に参加して

税務の基本的な制度から、実務上の判断に必要な考え方まで幅広く学ぶことができました。特に講師の先生による解説は非常に分かりやすく、専門用語や複雑な制度も具体的な事例を交えながら説明いただいたことで、理解が深まりました。

特に住宅用地特例の適用範囲については、曖昧だった部分を明確にすることができ、非常に有意義でした。さらに、送達に関わる手続きの重要性について再確認できたことも大きな収穫でした。グループワークでは他の市町村の職員の方々と意見交換ができ、自分たちの実務の進め方を見直す良い機会となりました。全体を通じて、非常に実践的で学びの多いセミナーであったと実感しています。

※感想は東京税務レポート 2025 年秋季号掲載より抜粋